

令和7年度 上下水道局 主要事業一覧

(1) 「稼げるまち」の実現 ～人も企業も潜在力を開花できるまち～

- ・ 行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進

588,924千円

行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大及び古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量へ向けた設計、工事を実施しました。

- ・ **拡充** 企業進出に伴う下水道の整備

714,533千円

若松区など、企業進出に伴い新たな排水を見込む地区に下水道整備を行い、企業活動の基盤を整え、あわせて使用料収入の増加を図りました。

- ・ 企業進出に伴う工業用水道の整備

763,894千円

若松区など、企業進出に伴い新たな工業用水の使用を見込む地区に配水管を整備しました。

- ・ インフラシステムの輸出による海外水ビジネス展開

93,832千円

国際技術協力で獲得した相手国との信頼関係を活用し、北九州市海外水ビジネス推進協議会の会員企業が実施する海外水ビジネスを支援しました。

※会員企業の累計受注実績は、平成22年以降、約335億円

(2) 「彩りあるまち」の実現 ～輝く個性と楽しさがあふれるまち～

該当なし

(3) 「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

- ・ 震災対策の拡充・強化

8,986,925千円

地震等の災害被害を最小限にし、市民生活に欠かせない上下水道施設を早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した施設の耐震改修等を行いました。また、上下水道システムの急所施設（その施設の機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設）や、重要施設（災害拠点病院、避難所等）に接続する上下水道管路等の耐震化に取り組みました。

- ・ 豪雨対策の拡充・強化

1,653,140千円

近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図るため、雨水管等の整備を行いました。

・**新規** 若松ポンプ場の整備《再掲》 417,498千円

老朽化が著しい3つのポンプ場を統廃合し、雨水ポンプの増強による排水能力の向上や耐震化、耐水化などの機能を兼ね備えたポンプ場の整備に着手しました。

(4) その他の取り組み

ア 上下水道施設の強靱化

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進めました。

■上下水道施設の長寿命化と改築・更新《一部再掲》

13,189,143千円

上下水道事業を持続していくため、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進めました。

【アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新】

・配水管等の更新 5,377,132千円

配水管更新 (L=22.8km)、導送水管更新 (L= 0.1km)

・浄水施設の更新 1,299,013千円

伊佐座排水処理場高圧設備更新電気計装工事 など

・工業用水道施設の改築更新 《一部再掲》 891,623千円

北九州市工業用水道配水管布設替工事 (7-1 工区) など (L= 0.9km)

・下水道施設の改築更新 1,998,513千円

港町ポンプ場3系汚水沈砂池設備 など

【上下水道施設の規模の最適化】

・配水ブロックの改善 77,286千円

尾倉、黒川配水池の統廃合 (減圧弁1箇所、配水管 L= 0.1km)

・下水道施設の再編 2,343,558千円

皇后崎浄化センターの再構築 など

■豪雨対策の拡充・強化《再掲》 1,653,140千円

近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、効果的に施設整備を進めました。

- ・浸水被害の最小化 1,649,586 千円
重点整備地区（社ノ木、長野津田、上葛原二丁目）の整備 など

■震災対策の拡充・強化《再掲》 8,986,925 千円

上下水道の強靱化を図るため、老朽化した施設の耐震改修等を実施するとともに、重要施設に接続する上下水道管路等を対象とした耐震化に取り組みました。

- ・浄水場・配水池の耐震化 113,964 千円
本城浄水場活性炭接触槽耐震化代替施設工事 など
- ・水道管路の耐震化《再掲》 5,377,132 千円
配水管等の更新
- ・浄化センター、ポンプ場の耐震化 523,215 千円
南小倉ポンプ場耐震補強工事 など
- ・下水道管渠の耐震化 2,588,657 千円
皇后崎主要幹線管渠更生、西鞘ヶ谷幹線管渠更生 など
- ・バックアップ機能の強化 347,600 千円
八重洲～城野分岐送水管整備 など（L= 0.6km）

■危機管理体制の充実・強化 484,087 千円

気候変動の影響による自然災害の増加などさまざまな災害リスクに備え、緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保しました。

- ・停電対策 74,330 千円
大谷ポンプ場非常用発電設備整備電気計装工事
- ・災害時における機能確保の推進 45,724 千円
応急給水施設整備工事、マンホールトイレの整備
- ・自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実 364,033 千円
内水浸水想定区域図の拡充、雨水タンク助成事業

イ 環境負荷の低減

水環境の向上や、資源の有効利用などによる環境負荷低減を推進しました。

■水質管理体制の充実（水道） 24,622 千円

水道水の水質管理体制を充実するため、水質検査技術の向上に努めるとともに、社会情勢に応じた検査体制を構築しました。

■水質監視強化（下水道） 28,414千円

下水道施設の保全や浄化センターの安定的な運転を目的として、下水処理に影響を及ぼす物質の監視強化を図りました。

■省エネルギーの推進 247,129千円

電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、省エネルギー対策を実施しました。

- ・下水道施設照明 LED 化 など

■資源の有効活用 3,329千円

- ・水道メーター再資源化業務
- ・下水道資源の有効活用

ウ 国内外への貢献

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取組を推進し、併せて、本市職員の技術力・実務能力の向上も図りました。

■多様な広域連携の推進《一部再掲》 589,843千円

近隣自治体との連携を強化し、双方にメリットを享受できる広域連携の具体化に向けた取組を実施しました。

また、行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大及び古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量に対応するため、必要な施設を整備しました。

■政策連携団体との連携強化 1,327,863千円

政策連携団体（（株）北九州ウォーターサービス）との連携を強化するとともに民間事業者の活用を図り、発展的広域化に取り組みました。

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託

■海外事業の展開《再掲》 93,832千円

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みました。

さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を活用し、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の会員企業が実施する海外水ビジネスを支援しました。

エ DXの推進

■衛星画像とAIを活用した漏水調査 3,157千円

人工衛星から照射されるマイクロ波で、漏水箇所を判定する技術を用いた漏水調査の実証実験を行いました。

■**新規** 下水道台帳維持管理システムの再構築 3,036千円

老朽化施設の加速度的な増加や、近年頻発する災害等に対応するため、下水道分野におけるデジタル技術の活用基盤を再構築し、業務の効率化やDXの推進を図りました。